

決め手は青森県産！

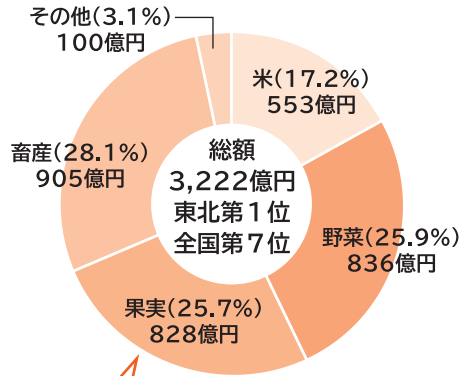


青森県の農業産出額は、15年連続で東北トップ！米・野菜・果実・畜産物がバランス良く生産されているのが特徴です。

また、日本の食料自給率(カロリーベース)が37%に対して、青森県は120%(H30年度概算値)で全国第4位！おいしい農産物が豊富。

やっぱり、決め手は青森県産ですね。

青森県の農業産出額(平成30年)



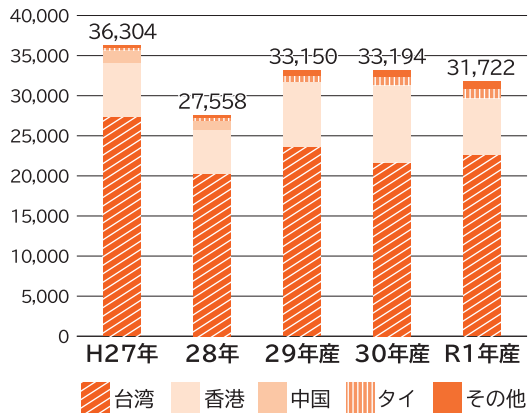
青森県のりんご

青森県のりんごは、全国の6割を占める約41万t(令和元年産)が収穫され、栽培面積(令和元年)、産出額(平成30年)、東京都中央卸売市場の年間取扱金額(令和元年)は、全国1位です。

日本から輸出されているりんごは、主にアジア地域向けで、その9割以上は青森県産と推計されています。

果実は全国1位！

りんごの輸出量(全国)(t)



イチおしミニあらかると

青森県で、ふだんの家の仕事として農業を行っている方(基幹的農業従事者の)平均年齢は65.4歳(2020年農林業センサス概数値)で、全国で2番目に若いのが特徴です。

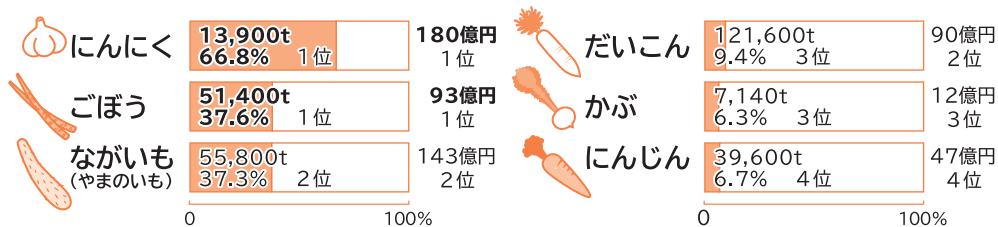
決め手は青森県産！



野菜・果実

青森県は、りんごなど果実のほかにも、にんにく、ごぼう、ながいも、だいこん、かぶ、にんじんなど野菜の生産も盛んです。（「りんご」は前ページをご覧ください。）

収穫量全国シェア・順位(R 1年)、産出額・全国順位(H30年)



畜産

青森県はブロイラー(肉用若鳥)、採卵鶏の産出額が全国上位です。そのほか、ブロイラー飼養羽数は全国第4位です。

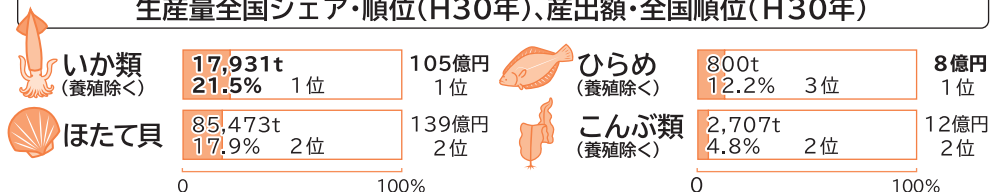
飼養羽数全国シェア・順位(H31年)、産出額・全国順位(H30年)



魚介類

青森県のいか類の生産量及び産出額は全国第1位です。そのほか、ひらめ類、ほたて貝、こんぶ類の生産量及び産出額は全国上位です。

生産量全国シェア・順位(H30年)、産出額・全国順位(H30年)



資料：生産農業所得統計、野菜生産出荷統計、畜産統計、漁業・養殖業生産統計（農林水産省）

イチおしミニあらかると

ジュノハート

「ジュノハート」は、青森県オリジナルのさくらんぼで、令和2年7月に全国デビューしました！

最大の特徴はなんとといってもハートの形。

また、国内最大級の大きさを誇るジュノハートですが、特に大きく品質の優れたものは、最高級の証として「青森ハートビート」と名付けられ、ギフト商品として高級百貨店などで販売されました。



イチおしミニあらかると

青森きくらげ

「青森きくらげ」は、令和2年7月にデビューしました。色が明るく鮮やかで肉厚な上、食物繊維やビタミンDなどの栄養価が豊富です。どんな料理とも相性バツグンで、コリコリした食感が楽しめます。生のものは7月から10月頃まで、乾燥したものは通年で出回りますが、手軽に調理できる生のものが特におすすめです。



イチおしミニあらかると

青い森紅サーモン

「青い森紅サーモン」は、約15年の歳月をかけて開発されたニジマスで、令和2年11月にデビューしました。県内のきれいな川やわき水を利用して育てられ、えさには県産のんにくやりんごを使っています。

美しい紅色をした身、ほどよい脂のノリ、強いま味が特徴です！



オンリーワンで行こう！元気な企業たち



青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術を全国・海外へ発信し続ける元気な企業や団体がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫で他社との差別化を図る」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

広がる！あおり藍の可能性

あおり藍産業協同組合(青森市)

新しい染色技術で染めたポロシャツがスペースシャトルの船内着として採用されたほか、藍の抗菌・防臭性を生かした消臭スプレーや、お茶やお菓子など多彩な商品を開発。また、独自の手法で抽出したあおり藍エキスに、インフルエンザウイルスの感染力を弱める効果があることが分かり、特許出願もしています。

世界トップシェアの微細合金粉末

(株)エプソンアトミックス(八戸市)

スマートフォン、タブレット端末などの電子機器のほか、自動車や医療など幅広い製品の素材として使われている金属粉末を独自技術で製造し、世界トップシェアを誇っています。世界最先端のオンリーワン技術で、未来のものづくりを支えています。

人にやさしい医療を実現！世界トップシェアの医療機器

青森オリンパス(株)(黒石市)

胃、大腸の検査や治療に使われる内視鏡で、世界トップシェアを誇るオリンパスグループの生産工場です。内視鏡に必要な処置具製品の開発・製造を行っています。様々な製品があり、内科と外科を合わせ、その数は2,300種類にも及びます。



朝日インテック(株)(八戸市)

手首や足の付け根からカテーテルという細い管を挿入し、狭くなった血管を広げる治療に必要な製品の開発・製造・販売をしており、心臓血管治療用のガイドワイヤーでは世界トップシェアを獲得しています。現在は、世界110の国や地域へ製品を提供しています。

青森から世界へ！人々の暮らしを支える作業工具 永木精機(株)(六ヶ所村)

電気、ガス、水道、通信、鉄道など、私たちの暮らしには欠かせないライフラインを支える作業工具の製造・開発を行い、その技術と品質が国内及び世界30カ国以上に認められています。青森から世界の多くの人の安全と安心を守り続けています。

業界初の技術で最優秀賞受賞！ アダマンド並木精密宝石(株)青森黒石工場(黒石市)

自動車・航空機等精密機械部品の小径穴内周面を非接触で短時間・高精度に測定できる機器「石英パイプ基準式内周面3D精密測定機」を青森黒石工場が基礎開発から商品化までを行い、「中小企業優秀新技術・新製品賞」中小企業庁長官賞(最優秀賞)を受賞しました。



AIで新型コロナウイルス感染症対策 (株)フォルテ(青森市)

新型コロナウイルス感染症対策のため、AI(人工知能)カメラの技術を応用し、顔認識、マスクの有無検知、非接触体温検知が可能なシステムを開発。医療機関など多くの施設で使用されています。また、準天頂衛星システム「みちびき」やGPS(全球測位システム)を活用した位置測位ソリューションなどを提供しています。

医療現場のシステム化を高品質に使いやすく マルマンコンピュータサービス(株)(弘前市)

勤務表作成や看護の支援システム「ナース物語」は、医療関係系業務ソフト分野別で全国2位。「血糖管理/血糖インスリン管理」等、医療安全と業務効率化を担うシステムで医療従事者を支援しています。近年では弘前大学COI研究推進機構との研究による健康増進支援サービス「健康物語」が、企業/団体の健康管理に活用されています。

青森発の機能性素材「プロテオグリカン」を製造・販売 (株)角弘(青森市)

コラーゲン、ヒアルロン酸に並ぶ第三の機能性成分として注目されている「プロテオグリカン」を、化粧品や健康食品の原料として製造・販売。弘前大学との共同研究により、世界初の製造方法を確立しました。このほか、製造過程で生まれる「カルリン」は、植物サポート資材として環境保全と循環型社会に対応した製品となっています。

自然からの贈り物 再生可能エネルギー



再生可能エネルギーは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出せず、永続的に利用できるエネルギーです。

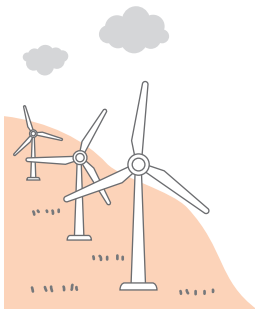
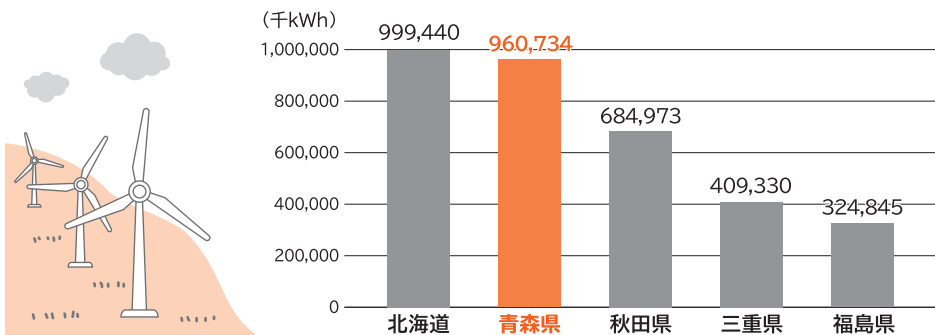
青森県は、豊かな自然環境に恵まれており、特に、風力発電は全国有数の適地で、令和元年度の風力発電による発電量は国内2位となっています。

また、県内では平成27年10月に国内最大級(当時)の太陽光発電施設(115,000キロワット)が稼働したほか、令和2年4月からは国内最大級の風力発電施設(121,600キロワット)が稼働しています。

さらに、地中熱や温泉熱を利用した住宅・施設等での冷暖房や融雪など、地域の特性に応じた様々な再生可能エネルギーの活用が進んでいます。

再生可能エネルギーの導入が進むことで、脱化石燃料と二酸化炭素排出量の削減につながり、持続可能な低炭素社会の実現に貢献していくことが期待されます。

都道府県別 風力発電量ランキング(令和元年度)



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

新むつ小川原株式会社 提供



ウインドファームつがる

株式会社グリーンパワーインベストメント 提供

資料:資源エネルギー庁、県エネルギー開発振興課

青森で働こう！



県では、県産の安心な素材と自然な色にこだわった野菜のクレヨンなど、魅力的な地域の資源やアイデアを生かして自分でお店を開く方のお手伝いや、若い人に人気のある仕事であるゲームの開発を行っている会社を誘致するなど、働く場、生活する場として「選ばれる青森」を目指して、青森だからこそ、いろいろな仕事にチャレンジできる地域づくりに取り組んでいます。

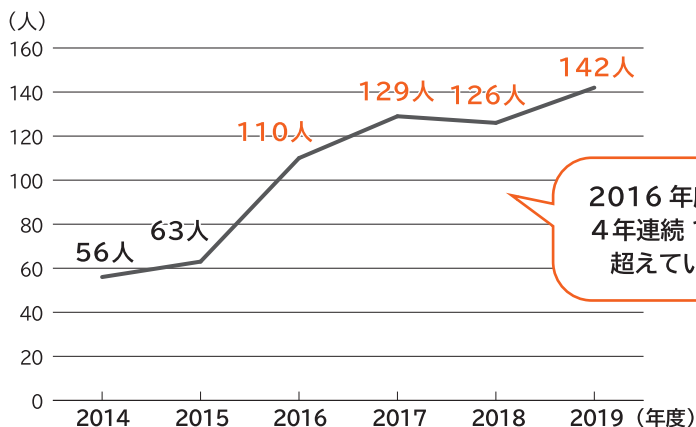


女性・UIターン創業をサポートする先輩女性起業家「あおりフルール」の皆さん

青森県では、県内8市に創業支援拠点を設置して創業や起業を希望する人のお手伝いをしています。拠点を利用した創業者の数は2016年度から4年連続で100人を超えており、そのうちの4割近くが女性でした。



創業支援拠点を利用した創業者数



2016年度からは、4年連続100名を超えています！

日本初の世界自然遺産 白神山地

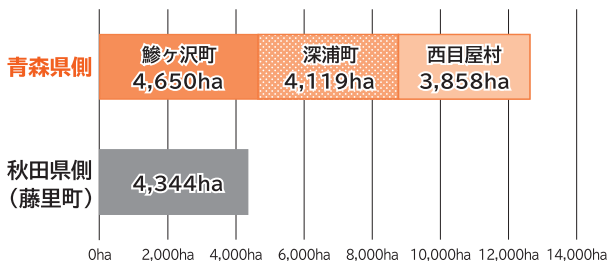


白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる約13万haに及ぶ広大な山岳地帯の総称です。白神山地の森には、人の手がほとんど入っていない東アジア最大級のブナ林のほか、多種多様な動植物が分布し、極めて貴重な生態系が保たれていることから、1993年(平成5年)12月に日本初の世界遺産(自然遺産)として登録されました。日本国内で自然遺産は、白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島の4件だけです。

このブナ林は、動物たちのエサになる植物が多くあるほか、水を蓄える力がとても大きいこと、大地に張りめぐらされた根が豪雨等による地表浸食を防ぐ機能があることも高く評価されています。



世界遺産登録面積16,971haのうち
青森県側が約4分の3を占める!



青森県側はトータルで12,627ha!

★全体に占める割合は74.4%!

★東京ドームで例えると2,700.7個分!

白神山地では、星空が美しく見えます。星空が美しく見えるのは、白神山地の山並みが都市部の光を遮り、星が見えにくくなる原因となる人工の光が届きにくいからです。白神山地のある深浦町の星空は、過去に実施された「全国星空継続観察」で日本一に輝きました。ぜひ一度ご覧ください。

ピカイチ！青森の木



弘前公園三の丸、緑の相談所中庭にあるソメイヨシノは、幹の周りが5m37cmで、環境省の「巨樹・巨木林データベース」によると単幹のソメイヨシノでは日本一の太さです！

弘前公園では明治期から市民による桜の寄贈が盛んになり、春には、ソメイヨシノを中心に52種約2,600本の桜が咲き誇る、桜の名所として親しまれています。

また、弘前公園のソメイヨシノは、一つの花芽(花を咲かせる芽)から時には7個と多くの花を咲かせるため、ボリュームのある花が見どころです。



昭和41年に県の木として指定された青森ヒバは、木曽ヒノキ、秋田スギとともに日本三大美林の一つに数えられ、全国の8割以上の蓄積量が青森県にあります。

シロアリや腐れに強いことから、古くから城や神社仏閣などに使用され、弘前城天守をはじめ数多くの建造物に用いられていることが知られています。

白神山地に代表されるブナの蓄積量が全国1位、住宅部材に使われるスギ人工林の面積が全国4位のほか、県南地域に南部アカマツが広く分布するなど、青森県の名前が示すとおり、多種多様な森が県土面積の65%を占めています。

温泉いっぱい ん～幸せ!

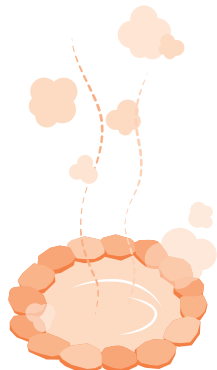


環境省の温泉利用状況(平成31年3月末日現在)によると、青森県は温泉地数が全国第5位、湧出量は全国第4位の温泉の宝庫!

また、青森県の一般公衆浴場数は287ヶ所(令和元年度)で、全国第3位!人口10万人当たりでは23.7ヶ所(平成29年度)とダントツの全国第1位!なんと全国平均の8.2倍です。

(※ピカイチデータ100!もご覧ください。)

さらに、令和元年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)によると、青森県の「温泉・銭湯入浴料購入金額」(1世帯当たり)が全国第1位で、青森県民は温泉が大好きなことが分かります。



温泉地数 (か所)

1位	北海道	246
2位	長野県	210
3位	新潟県	144
4位	福島県	136
5位	青森県	125

湧出量 (㍓/分)

1位	大分県	279,253
2位	北海道	198,022
3位	鹿児島県	160,132
4位	青森県	147,259
5位	熊本県	133,158

混浴の大浴場『ヒバ千人風呂』で有名な国民保養温泉地第1号にも指定された「酸ヶ湯温泉」(青森市)、幻想的なランプの灯りの中で入浴を楽しめる「青荷温泉」(黒石市)、波打ち際に露天風呂がある絶景の「不老ふ死温泉」(深浦町)、エメラルドグリーンのお湯が色鮮やかな「新屋温泉」(平川市)、真っ黒なお湯がめずらしい「東北温泉」(東北町)など県内には個性的な温泉がたくさんあります。

※国民保養温泉地・・・環境省が指定した、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れている地域のこと。

資料: 衛生行政報告例(厚生労働省)、公益社団法人 青森県観光連盟、県保健衛生課、県自然保護課

暮らしやすい青森!



青森県には意外と知られていない「暮らしやすさ」がたくさんあります。

例えば、全国で2番目に安く家を建てることのできるほか、家の広さも全国で4番目に広いので、都会に比べてのびのびとした生活を送ることができます。また、気軽に野球やサッカーが楽しめるような広い公園もたくさん!

ふだんは青森に住んで、のびのびと暮らし、たまに県外に遊びに行くという暮らし方も快適です。若い人たちに「県外で就職してもいつか戻ってこよう!」と思ってもらえるよう、「選ばれる青森」をめざしてこれからも本県の暮らしやすさをPRしていきます。

データ

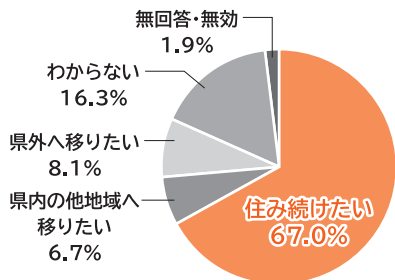
- ★住宅地が安い(住宅地の平均価格1㎡あたり) 東京都378,100円 青森県16,100円(※全国2位)(R2年)
- ★住宅が広い(専用住宅1人当たりの居住室の畳数) 東京都12.17畳 青森県16.57畳(※全国4位)(H30年度)
- ★公園が多い(都市公園等1人あたり面積) 首都圏平均約7.0㎡ 青森県18.2㎡(※全国8位)(H30年度)

本県の暮らしやすさについて尋ねた「平成30年青森県民の意識に関する調査」によると、日常生活の中で、「新鮮で安全な食品が買えること」や「豊かな自然やきれいな水と空気が保たれていること」に満足している県民が多いようです。

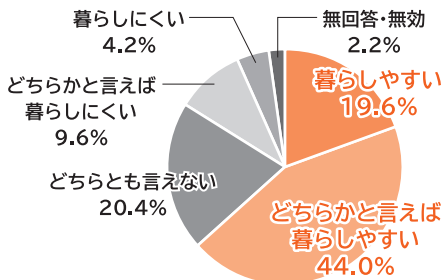
また、この調査では、県民の6割以上が青森県を「暮らしやすい」と感じていることや、7割以上が将来も青森県に「住み続けたい」と答えていることが分かりました。

平成30年青森県民の意識に関する調査

住んでいる地域への定住志向

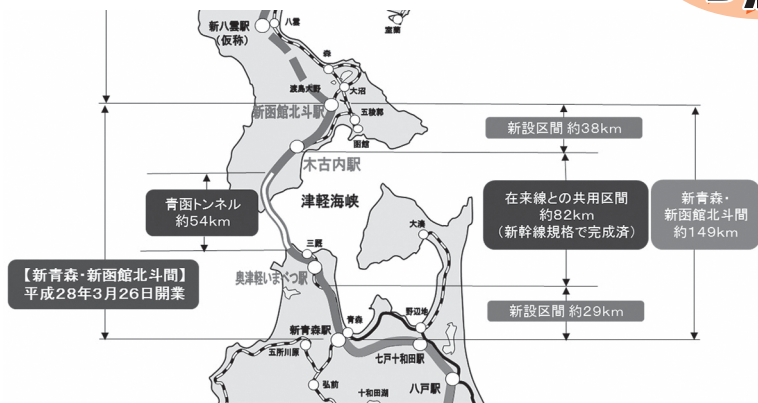


お住まいの地域の暮らしやすさ



資料: 県企画調整課

鉄道のピカイチ集めました!



東北新幹線は、2020年12月4日に、全線開業から10周年を迎えました!

2020年10月からは、盛岡～新青森間の最高速度を260km/hから現在国内最速の320km/hに向上させるための工事が進められています。

さらに、仙台～新青森間では、これを超える360km/hでの営業運転を目標に、次世代新幹線(ALFA-X)の試験運転が行われています。このほかにも、鉄道には様々な「ピカイチ」がありますので、いくつか紹介します。

最高速度320km/h! 日本一の高速新幹線車両(E5系・H5系)「はやぶさ」



JR東日本の車両E5系「はやぶさ」は、最高速度320km/hで日本一の高速新幹線車両(E5系・H5系)です。また、この車両は国内新幹線初となるファーストクラス座席「グランクラス」が導入されたことでも話題になりました。

延長713.7km! 日本一の長い路線! 「東京～新青森間」

東北新幹線は、全線開業後、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、在来線も含めた中で日本最長の路線に! これまでの山陰本線(営業キロ673.8km)に代わり、日本一になりました。

全長26.455km！世界一の複線陸上鉄道トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455kmと、上下線が通る複線トンネルでは世界一長い陸上鉄道トンネルです。青森県中央部の八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めます。



橋脚間隔150m！日本一広い橋脚間隔の新幹線鉄道橋「三内丸山架道橋」



三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450mのエクストラドーズ橋。橋桁を支える橋脚と橋脚の間隔は最大で150mもあり、新幹線の鉄道橋で日本一広い間隔です。

全長53.85km！世界第2位の鉄道トンネル「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで、鉄道トンネルの中では世界第2位の長さを誇ります。当時の日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通しました。その技術は、英仏海峡トンネル(全長50.49km)でも活用されています。

また、2020年12月31日から2021年1月4日までは、青函トンネル内を走る新幹線の走行速度を160km/hから210km/hに引き上げて営業運転がされるなど、北海道新幹線の更なるスピードアップに向けた取組が進められています。



イチおしミニあらかると 第3セクター鉄道「青い森鉄道」にもピカイチ！

東北新幹線全線開業に伴い、並行在来線としてJR東日本から経営分離され誕生した「青い森鉄道」は、目時・青森間121.9kmを上下分離方式(※)で運営し、三陸鉄道に次いで長い第3セクター鉄道です。

また、青い森鉄道野辺地駅には、日本最古の防雪林があります。

※青い森鉄道では、県が線路や駅舎等の施設(「下」の部分)を、第3セクター鉄道会社が電車(「上」の部分)を所有し運営する上下分離方式を第3セクター鉄道としては日本で初めて採用しました。